

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 計算科学とナノ微細加工技術を駆使した超高感度 Si ナノワイヤバイオセンサシステムの創製
2. 研究代表者： 張 慧（群馬大学 大学院理工学府 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、計算科学とナノ微細加工技術を用いた Si ナノワイヤ(NW)バイオセンサシステムを創製し、検体中の極微量な特定ウイルスを迅速かつ高精度に検査する方法を実現化する研究である。フェーズ1は、NWを形成し抗体を組合せることで高感度に検出できる系を開発した点は独創的な内容と評価できる。緻密な基礎研究に基づく信頼性のあるデータで、構想の最適化や安価なデバイス開発を進めるなど、計画された研究が順調に進捗している。フェーズ2は、フェーズ1の実績に基づき、新たなセンサ構造の構築を目指すものであり、実用化に向けた挑戦的な取り組みに期待する。

以上